

コスモス通信

平成5年8月2日 No. 2
〒491-03 一宮市萩原町串作字西沖55
☎ 0586-69-7935

平成5年度初級養成講座 多くの成果を残して終了

※※※ 講座終了後入会者 9名 ※※※

受講者は49名という多数の参加者で始まり、出席率も76%と高く、熱心な受講態度で講座はより充実したものになりました。アンケートによれば講座内容についてよく分かったと答えた方75.7%で、今後も繰り返し講習会を実施してほしいとの意見も多くありました。

又、協力会員以外の受講者の75%が今後協力会員として活動することを望んでおり、これは大きな成果といえましょう。

一宮生活共同組合のご好意により生協の各班に会のチラシを配布していただけましたことになりました。

8月の予定	
2日(月)	定例会 午後1時~3時 会の説明会午後3時~4時
3日(火)	運営委員会
5日(木)	一宮寮ボランティア 植、慎、細 伊藤雅、茂
9日(月)	" 帽、伊藤
12日(木)	お盆休み
13日(金)	一宮寮ボランティア 帽、山内 運営委員会
16日(月)	映画会実行委員会試写会
17日(火)	一宮寮ボランティア 植、慎、細
19日(木)	第一回映画上映委員会
20日(金)	一宮寮ボランティア 植、慎、細
23日(月)	運営委員会
24日(火)	一宮寮ボランティア 植、慎、細
26日(木)	" 植、慎、細
30日(月)	" 植、慎、細

去る七月二十四日から二十五日にかけ私達尾張センターも加入しております日本ケアシステム協会の全国大会が、東京八王子の東京都立大学において開かれました。

人生八十年時代のさまである問題は私達一人一人に多くの事を問い合わせています。国においては、積極的にゴールドプランを示していますが、限られた財政の中から提示された数字で乗り切れるかどうかが問題とされています。なかでも急速な高齢化に伴う後期高齢

者である七十五才以上の人々の福祉介助サービスの需要に応える為には、公的システムだけではなく民間の参加が必要です。その活動をより良いものにしていく手立てとして日本ケアシステム協会のタイムストック制度が出来ました。尾張センターからは二十五日の各分科会とシンポジウムに参加。

参加した分科会の概要は次の通り。
セントラーコトニ違反金額的な問題は、料金の違いが二十%までは一時間一点とする事になつてゐるが、タイムストックが将来必ず酬いられるか、全国的なものとしてどのように通用していくのか等問題は多い。しかし、タイムストックがボランティア活動なのか、有償ケアワーカー活動としての運動なのか、その両方をあわせもつたものなのか問われたまま、現実はその活動が拡大している。

それは、まごころサービス提供を通じて福祉、教育、社会参加という意義をもつた活動であること、他の人と共に生きるという連帯の輪が広がる実感を得るからであろう。瀬戸センターのリポートの最後に会員同士の助け合いが基本なのだから、信頼関係を第一に考えて十年、二十年先へリレーしていきたい、と結ばれていたのは共感のできるところであった。

◆ タイムストックの今後

保健婦さんから現場を通じて思うことは、市民へのサービスを効果的に行うには行政、民間の関係機関、医療機関との連携を図っていくことが最も必要であると指摘。

◆ 地域における福祉・医療・保健の連携

又有償在宅福祉サービスに於けるケアワーカーは、主婦の集まりといふ事ではなくもっと高い意識をもつことが大切であると確認。

◆ 公的福祉と民間福祉

今までの行政による福祉は、法律で決められたことをする「与える福祉」であった。今、公的福祉も変わりつつある。ゴールドプランでは初めて数を指定して宣言した。

これからは、例えば、なるべく入院しないで、大病院よりも近所の開業医にかかりホームヘルパーを利用するなどして、医療費から福祉への転減に努めることが望まれる。

民間福祉は、隣人愛、相互扶助等の精神を基にするボランティア活動とか有償の在宅福祉サービスの提供などをよぶのであろうが、福祉を公・私に区別することは困難だし、又公・私が連携を密にして多様化する福祉ニーズに答えなければならない、等討論された。

日本ケアシステム協会 第二回全国大会開催 テーマ「在宅ケアの展開」

7月の登録状況	
△協力会員	35人
△利用会員	3人
△賛助会員	38人
合計	76人